

令和5年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	新潟勤労者総合福祉センター		
管理者名	新潟市開発公社	指定期間	平成31年(2019年)4月1日 ~ 令和6年(2024年)3月31日
担当課	経済部雇用・新潟暮らし推進課		
所在地	新潟市中央区鐘木185番地18		
根拠法令	-		
設置条例	新潟勤労者総合福祉センター条例		
施設概要	<p>○敷地面積 31,319㎡ ○建築面積 7,212㎡ ○延床面積 11,729㎡</p> <p>○構造・規模 鉄筋コンクリート造、地上4階・地下1階建て</p> <p>○主な施設内容</p> <p>1階 ホール (3,241㎡ 定員 1,510人) リハーサル室 (195㎡) 第1～3楽屋 (18㎡) 第4・5楽屋 (33㎡) 第6楽屋 (45㎡) 第1控室 (14㎡) 第2・3控室 (12㎡) フィットネスセンター (1,367㎡ 定員 100人)</p> <p>2階 特別会議室 (158㎡ 定員 62人) 中会議室 (160㎡ 定員 62人) 小会議室1 (55㎡ 定員 20人) 小会議室2 (55㎡ 定員 20人) レストラン (349㎡ 定員 120人)</p> <p>3階 大会議室 (226㎡ 定員 150人) 研修室1 (75㎡ 定員 54人) 研修室2 (82㎡ 定員 54人) 和室1 (15畳 定員 8人) 和室2 (10畳 定員 8人) 和室3 (10畳 定員 8人)</p> <p>屋外駐車場 (15,318.7㎡、600台)</p>		

施設設置目的
勤労者をはじめとする市民の教養、文化及び福祉の向上並びに健康の増進を図るため、新潟勤労者総合福祉センターを設置する。
管理・運営に関する基本理念、方針等
<p>(1) 新潟勤労者総合福祉センター条例に基づき、勤労者をはじめとする市民の教養、文化及び福祉の向上並びに健康の増進に寄与すること。</p> <p>【重点課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民を対象とした公平かつ平等なホール、会議室等の貸館業務の運営 市民の教養、文化及び福祉の向上並びに健康の増進に寄与する事業の実施 <p>(2) 利用者の視点に立ち、施設が安全・安心・快適に利用できるよう努めること。</p> <p>【重点課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安心・安全・快適性に重点を置いた管理運営 利用者からの意見、要望を反映させた管理運営 法令の遵守 (個人情報保護等) <p>(3) 利用者数の増加と稼働率の向上を図るとともに、管理経費の縮減に努めること。</p> <p>【重点課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各事業における利用者の増加、稼働率の上昇 利用者サービスの向上かつ管理経費の縮減

視 点	評価項目		評価指標	実績	評価	評価コメント
市 民	ア	広報の充実	・ホームページの充実とアクセス数の増加(前年度比)	385,437回 (前年度比 98.8%)	B	
	イ	基準利用者数の達成	・ホール、会議室の年間総利用者数 35万人以上	202,499人	C	コロナ禍以前の水準には達していないものの、いずれも昨年度を上回っており回復が見込まれる。
	ウ	基準稼働率の達成	・ホール稼働率 56%以上 ・会議室稼働率 75%以上	ホール稼働率 60.9% 会議室稼働率 63.5%	C	
	エ	各種サービス別満足度	・利用者アンケートで「満足」が96%以上	ホール利用者アンケート「満足」以上96.2%	B	
	オ	設置目的に適った自主事業の実施	・ホール活用事業6件以上、11,000人以上実施 ・会議室活用事業40件以上、760人以上実施 ・フィットネスセンター活用事業 9,500人以上	1.興業 開催数2回 5,990人 2.文化講座 開催数16講座 利用人数260人 3.人材育成講座 開催数1回 利用人数18人 4.フィットネスセンター プログラム 開催数12 利用人数6,335人	C	感染症の影響により中止していたものを再開したところであり、コロナ禍以前の水準は大きく下回った。今後の積極的な実施と集客の回復を期待する。
財 務	カ	管理経費の削減	管理経費を年間255,210千円以下	貸館 210,497,788円 フィットネス 61,298,932円 計 271,796,720円	C	光熱費高騰の影響を受けたことと、施設設備の経年劣化による修繕費が嵩んだことなどにより目標を下回った。
	キ	市の歳入の増加	使用料収入を年間125,000千円以上	貸館 101,813,610円 フィットネス 14,772,450円 計 116,586,060円	C	利用者数は回復傾向にあるものの、昨年度をやや下回った。より一層の努力を期待する。
業 務	ク	業務仕様書等に定める事項の遵守	業務仕様書等に定める事項の遵守	業務仕様書等に基づき適切に実施	B	
	ケ	人員計画の合理性・妥当性	サービス水準維持のための人員の適正配置	事業計画書に基づき適正に配置	B	
	コ	日常連絡・事業報告の適切さ	月次報告書を翌月10日までに提出	月次報告書等各種報告は適切に実施	B	
	サ	安全責任者の配置と安全確保体制の確立	防災責任者を配置し、防災訓練等の実施	防災責任者を配置 訓練は年2回実施	B	
	シ	事件・事故発生時の対応の適切さ	事故発生の防止と発生時の体制確保及び訓練の実施	事業計画書に基づき適正に配置	B	
人 材	ス	配置人員のミッションの理解度とスキルの習得度	職員研修の定期的な開催	職員訓練研修を実施	B	
	セ	労働基準の充足	関係労働法令の遵守	関係労働法令を遵守	B	

総 合 評 価 (所 見)

利用者数や自主事業などにおいては、目標値を下回りコロナ禍以前の水準には達しないものの、いずれも昨年度を上回っており回復傾向にあると思われる。利便性を高めながら広報活動を行い、稼働率の向上及び利用者増加、市歳入の増加につながるよう期待したい。

業務及び人材の視点においては、業務実施に問題はなく適正な水準が維持されている。また、利用者アンケートによる満足度は例年安定して高く、利用者へのきめ細かな対応及び所管課との迅速な情報共有・対応等、適切に業務を実施していることが評価できる。